|  |  |
| --- | --- |
| 大阪の統計トピックス No.９ | （令和４年３月31日掲載） |
| **『統計でみる都道府県のすがた』にみる大阪府のすがた　-その２-**  |
| 大阪府総務部統計課  |

　前回(令和４年２月28日掲載)に続き、総務省統計局刊行の『統計でみる都道府県のすがた　2022』から、大阪府がかなり上位又は下位の指標を御紹介します。

　<https://www.stat.go.jp/data/k-sugata/pdf/all_ken2022.pdf>

**Ⅱ　客室稼働率**

　緊急事態宣言→解除→GoToトラベル開始→緊急事態宣言→GoToトラベル停止‥…と、コロナ禍で翻弄され、苦境がたびたび報じられる旅館やホテルですが、客室稼働率＊1はその状況を如実に表しています。出典は、観光庁の宿泊旅行統計調査＊2です。

　＊1 利用客室数÷総客室数×100

　＊2　我が国の宿泊旅行の全国規模の実態等を把握し、観光行政の基礎資料とするもので、

　　 従業者数10人以上は全数調査、それ以外は無作為抽出のサンプル調査

　大阪府で最初の緊急事態宣言が発出されたのは、令和２年４月７日です。そこで、”平時”の令和元年と令和２年の順位を比べましたが、記事を書くのが嫌になりました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令元 |  | 令２ | 差 |
|  | 全国平均　72.0% | 　　　38.9% | -33.1ﾎﾟｲﾝﾄ |
|  1位 | 東京都　　83.4 | 45位　32.2 | -51.2 |
|  **2位** | **大阪府　　82.0** | **47位　31.3** | **-50.7** |
|  3位 | 神奈川県　77.9 | 13位　45.0 | -32.9 |
|  4位 | 千葉県　　77.7 | 35位　39.7 | -38.0 |
|  5位 | 福岡県　　76.1 | 38位　37.5 | -38.6 |
|  6位 | 愛知県　　74.7 | 37位　38.2 | -36.5 |
|  7位 | 沖縄県　　74.5 | 43位　35.6 | -38.7 |
|  8位 | 広島県　　74.4 | 14位　44.2 | -30.2 |
|  9位 | 京都府　　73.6 | 46位　32.1 | -41.5 |
| 10位 | 埼玉県　　72.5 |  3位　48.1 | -24.4 |
|  | … | … |  |
| 38位 | 奈良県　　62.9 | 44位　35.0 | -27.9 |
| 39位 | 山口県　　62.4 |  3位　48.1 | -14.3 |
| 40位 | 宮崎県　　62.2山形県 | 28位　41.4 | -20.8 |
| 23位　42.3 | -19.9 |
| 42位 | 島根県　　62.0 |  2位　48.8 | -13.2 |
| 43位 | 和歌山県　60.7 | 30位　41.2 | -19.5 |
| 44位 | 新潟県　　60.2富山県 | 28位　41.4 | -18.8 |
| 42位　35.8 | -24.4 |
| 46位 | 秋田県　　59.8 | 20位　42.7 | -17.1 |
| 47位 | 長野県　　58.1 | 39位　37.1 | -21.0 |

　３県を除いて下位グループに移っていますが、東京都、大阪府の落差の大きさは衝撃的です。下位グループは大体上昇していますが(島根県は２位、山口県は３位に‼)、10数ポイントも低下していては頭が痛いのに変わりはないでしょう。

　前の表と半分重複しますが、令和元年と令和２年の順位表をつなぎ合わせます。上位→下位は緑、下位→上位は黄、変動なしは灰に着色しましたが、１年で激変しました。

　上位→下位は、大都市を擁する都道府県が目立ちますので、内外の観光客だけでなく、出張見合わせ、Web会議化等の影響でビジネス客が減ったのも大きかったのかもしれません。

|  |  |
| --- | --- |
| 令元 | 令２ |
|  1位 | 東京都　　83.4% |  1位 | 茨城県　　48.9% |
|  2位 | 大阪府　　82.0 |  2位 | 島根県　　48.8 |
|  3位 | 神奈川県　77.9 |  3位 | 埼玉県　　48.1山口県 |
|  4位 | 千葉県　　77.7 |
|  5位 | 福岡県　　76.1 |  5位 | 福井県　　47.3岡山県 |
|  6位 | 愛知県　　74.7 |
|  7位 | 沖縄県　　74.5 |  7位 | 高知県　　45.9 |
|  8位 | 広島県　　74.4 |  8位 | 愛媛県　　45.5 |
|  9位 | 京都府　　73.6 |  9位 | 岩手県　　45.4 |
| 10位 | 埼玉県　　72.5 | 10位 | 福島県　　45.3 |
|  | … |  | … |
| 38位 | 奈良県　　62.9 | 38位 | 福岡県　　37.5 |
| 39位 | 山口県　　62.4 | 39位 | 長野県　　37.1 |
| 40位 | 宮崎県　　62.2山形県 | 40位 | 石川県　　37.0 |
| 41位 | 山梨県　　36.7 |
| 42位 | 島根県　　62.0 | 42位 | 富山県　　35.8 |
| 43位 | 和歌山県　60.7 | 43位 | 沖縄県　　35.6 |
| 44位 | 新潟県　　60.2富山県 | 44位 | 奈良県　　35.0 |
| 45位 | 東京都　　32.2 |
| 46位 | 秋田県　　59.8 | 46位 | 京都府　　32.1 |
| 47位 | 長野県　　58.1 | 47位 | 大阪府　　31.3 |

　関連して、同じ２年間の従業員の処遇を見ておきます。

　これは、都道府県の統計課が厚生労働省から受託して実施している毎月勤労統計調査地方調査の結果(大阪府分)です。なお、集計区分は「宿泊業、飲食サービス業」で、規模も宿泊旅行統計調査と一致していないことをお含みおきください。

事業所規模５人以上、平成27年平均＝100

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令元 | 令２ | 差 | 補足 |
| 名目賃金指数 |  |  |  | ＝きまって支給する給与＋特別給与＝きまって支給する給与－超過労働給与 |
|  | 現金給与総額 | 109.7 | 102.6 | - 7.1 |
| きまって支給する給与 | 111.0 | 107.3 | - 3.7 |
| 所定内給与 | 110.6 | 108.9 | - 1.7 |
| 労働時間指数 |  |  |  |  |
|  | 総実労働時間 |  98.1 |  87.4 | -10.7 | ＝早出、残業、臨時の呼出、休日出勤等 |
| 所定内労働時間 |  97.0 |  87.2 | - 9.8 |
| 所定外労働時間 | 120.4 |  87.3 | -33.1 |
| 常用雇用指数 | 108.2 | 106.4 | - 1.8 | 常用労働者にはパートタイム労働者を含みます。 |

　これを見ると、

○仕事がないので超勤はなし、正規の労働時間も短縮

○雇用調整助成金等も活用しながら、所定内給与は極力下げず、従業員はできるだけ維持して、回復を待つ

という構図が窺われます。



　　<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2008100019>

　　大阪府総務部統計課情報企画グループ　☎06-6210-9196